

競技種目		区 分	員数制限	日 程	
組 手 競 技	個人戦	シニア男子1部	40歳～44歳（2022年4月1日現在）	制限なし	5月1日
		シニア男子2部	45歳～49歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア男子3部	50歳～54歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア男子4部	55歳～59歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア男子5部	60歳～64歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア男子6部	65歳～69歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア男子7部	70歳以上（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子1部	35歳～39歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子2部	40歳～44歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子3部	45歳～49歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子4部	50歳～54歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子5部	55歳以上（2022年4月1日現在）	制限なし	
		成年男子-60kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で60kg未満	制限なし	
		成年男子-67kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で60kg以上67kg未満	制限なし	
		成年男子-75kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で67kg以上75kg未満	制限なし	
		成年男子-84kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で75kg以上84kg未満	制限なし	
		成年男子+84kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で84kg以上	制限なし	
		成年女子-50kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で50kg未満	制限なし	
		成年女子-55kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で50kg以上55kg未満	制限なし	
		成年女子-61kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で55kg以上61kg未満	制限なし	
		成年女子-68kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で61kg以上68kg未満	制限なし	
		成年女子+68kgの部	2004年4月1日以前に生まれた者で68kg以上	制限なし	
		小学6年生男子の部	小学6年生	制限なし	4月29日
		小学5年生男子の部	小学5年生	制限なし	
	小学4年生男子の部	小学4年生	制限なし		
	小学3年生男子の部	小学3年生	制限なし		
	小学2年生男子の部	小学2年生	制限なし		
	小学1年生男子の部	小学1年生	制限なし		
	小学6年生女子の部	小学6年生	制限なし		
	小学5年生女子の部	小学5年生	制限なし		
	小学4年生女子の部	小学4年生	制限なし		
	小学3年生女子の部	小学3年生	制限なし		
小学2年生女子の部	小学2年生	制限なし			
小学1年生女子の部	小学1年生	制限なし			
幼児男女の部	4歳（2022年4月1日現在）以上の未就学児	制限なし	4月30日		
少年男子の部	2004年4月2日～2007年4月1日の間に生まれた者	制限なし			
少年女子の部	2004年4月2日～2007年4月1日の間に生まれた者	制限なし			
中学生男子の部	中学1年生～3年生	制限なし			
中学生女子の部	中学1年生～3年生	制限なし			
中学生男子の部	中学1年生～3年生・同一中学校で構成・正選手3名（補欠1名）	制限なし			
中学生女子の部	中学1年生～3年生・同一中学校で構成・正選手3名（補欠1名）	制限なし			
形 競 技	個人戦	シニア男子1部	40歳～49歳（2022年4月1日現在）	制限なし	5月1日
		シニア男子2部	50歳～59歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア男子3部	60歳～69歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア男子4部	70歳以上（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子1部	35歳～44歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子2部	45歳～54歳（2022年4月1日現在）	制限なし	
		シニア女子3部	55歳以上（2022年4月1日現在）	制限なし	
		成年男子の部	2004年4月1日以前に生まれた者	制限なし	
		成年女子の部	2004年4月1日以前に生まれた者	制限なし	
		小学6年生男子の部	小学6年生	制限なし	4月29日
		小学5年生男子の部	小学5年生	制限なし	
		小学4年生男子の部	小学4年生	制限なし	
	小学3年生男子の部	小学3年生	制限なし		
	小学2年生男子の部	小学2年生	制限なし		
	小学1年生男子の部	小学1年生	制限なし		
	小学6年生女子の部	小学6年生	制限なし		
	小学5年生女子の部	小学5年生	制限なし		
	小学4年生女子の部	小学4年生	制限なし		
	小学3年生女子の部	小学3年生	制限なし		
	小学2年生女子の部	小学2年生	制限なし		
	小学1年生女子の部	小学1年生	制限なし		
	幼児男女の部	4歳（2022年4月1日現在）以上の未就学児	制限なし	4月30日	
	少年男子の部	2004年4月2日～2007年4月1日の間に生まれた者	制限なし		
	少年女子の部	2004年4月2日～2007年4月1日の間に生まれた者	制限なし		
中学生男子の部	中学1年生～3年生	制限なし	4月29日		
中学生女子の部	中学1年生～3年生	制限なし			
団体戦	小学生男子の部	小学4年生～小学6年生・学年構成不問で構成・正選手3名（補欠1名）	制限なし	4月29日	
	小学生女子の部	小学4年生～小学6年生・学年構成不問で構成・正選手3名（補欠1名）	制限なし		
	中学生男子の部	中学1年生～3年生・同一中学校で構成・正選手3名（補欠1名）	制限なし	4月30日	
	中学生女子の部	中学1年生～3年生・同一中学校で構成・正選手3名（補欠1名）	制限なし		

① 組手競技 トーナメント方式

(1) 試合時間

- 少年・一般 正味1分30秒 8ポイント差 (決勝戦) 正味1分30秒
- シニア 正味1分30秒 6ポイント差 (決勝戦) 正味1分30秒
- 小・中学生 正味1分30秒 6ポイント差 (決勝戦) 正味1分30秒
- 幼児 正味1分00秒 6ポイント差 (決勝戦) 正味1分00秒

(2) 安全具は下記の通りとする。なお安全具は検定品（全空連・WKF・高体連）であること。

※防具の共有は認めない

競技種目 / 安全具	ムホ-VI以上	拳サポーター	ボディプロテクター	セフティーカップ	シガード	インステップガード	口元シールド
成年男子の部	○	○ 注1	○	○	○ 注3	○ 注3	○ 注4
少年男子の部	○	○ 注1	○	○	○ 注3	○ 注3	○ 注4
シニア男子の部	○	○ 注1	○	○	○ 注3	○ 注3	○ 注4
成年女子の部	○	○ 注1	○	×	○ 注3	○ 注3	○ 注4
少年女子の部	○	○ 注1	○	×	○ 注3	○ 注3	○ 注4
シニア女子の部	○	○ 注1	○	×	○ 注3	○ 注3	○ 注4
中学生男子の部	○	○ 注1	○	○	○ 注3	○ 注3	○ 注4
中学生女子の部	○	○ 注1	○	×	○ 注3	○ 注3	○ 注4
小学生男子の部	○	○ 注1	○	○ 注2	○ 注3	○ 注3	○ 注4
小学生女子の部	○	○ 注1	○	×	○ 注3	○ 注3	○ 注4
幼児男女混合の部	○	○ 注1	○	○ 注2	○ 注3	○ 注3	○ 注4

注1：全種目、赤・青の両方を用意すること。但し、幼児・小学生はリバーシブルを使用すること。

注2：幼児・小学1年生および2年生は、所属の監督の判断に任せます。

注3：全種目、シガード及びインステップガード（成年とシニアのみ赤・青使用可。但し赤・青を使用する場合は、赤・青の両方を用意。）を着用すること。

注4：全空連公認（ミズノ(株)、(株)東海堂、(株)ヒロタ、(株)守礼堂の各社製）のものとする。

(3) 成年組手競技は、5階級の体重別に変更する。

(ア) 女子組手 -50kg・-55kg・-61kg・-68kg・+68kg

(イ) 男子組手 -60kg・-67kg・-75kg・-84kg・+84kg

(4) 競技力向上委員会による【国体クラス分け対応順位決定戦】を下記の通り実施する

※国体選手は順位決定戦でのポイントと関東大会結果でのポイント合計により決定する

※県大会申込書の国体組手種目出場希望の欄に『数字の1（仔）』を記入する

※県大会体重分けと国体体重区分が異なるため、申込みの際は注意すること

※軽量級（65kg未満）・中量級（65kg以上～75kg未満）・重量級（75kg以上）

(ア) 男子軽量級を希望する選手の中で、県大会成績上位者を集めて順位決定戦を行う

(イ) 男子中量級を希望する選手の中で、県大会成績上位者を集めて順位決定戦を行う

(ウ) 男子重量級を希望する選手の中で、県大会成績上位者を集めて順位決定戦を行う

(エ) 女子組手は県大会各クラスの上位者による順位決め（1～4位）を行う

※1 大会当日、委員会より対象者を召集する。

※2 トーナメント方式（試合前に抽選を行い、組合せを決定）

※3 県大会表彰対象外。

【問合せ先】 競技力向上委員会

委員長 出雲照夫 090-4133-9453

事務長 太田 伸 090-1116-3979

(幼児を除く全種目に関して、ベスト4からは得点制)

幼児男女	・初戦から決勝まで基本形（繰返可）
小学生男女	・ベスト16まで基本形（繰返可）、ベスト8から決勝までは第1、2指定形、若しくは、ベスト16以下の試合において使用していない基本形（繰返可）
小学生男女団体 (4年～6年生)	・ベスト4まで基本形（繰返可）、 決勝は第1、2指定形、若しくはそれまで使用していない基本形
中学生男女	・ベスト16まで第1指定形、ベスト8まで第2指定形、以降は得意形（繰返可）
中学生男女団体	・ベスト4まで第1若しくは第2指定形（繰返可）、 決勝はそれまで使用していない得意形。
少年男女	・ベスト16まで第1若しくは第2指定形（繰返可）、以降は得意形（繰返可）
成年男女	・ベスト32まで第1指定形（繰返可）、ベスト16まで第2指定形（繰返可） ベスト8からは得意形（繰返不可）
シニア男女	・ベスト32まで第1指定形（繰返可）、ベスト16まで第2指定形（繰返可） ベスト8からは得意形（繰返不可）

- 基本形、指定形及び得意形は、（公財）全日本空手道連盟 空手競技規定 基本形、指定形、及び、得意形リスト「付録15：全空連指定形リスト」、「付録16：全空連得意形リスト」、及び「付録17：全空連基本形リスト」から選択しなければならない。

9. その他

- ① 選手は各自、背番号・エントリーした郡市連名又は中学校・高等学校名を左胸に縫い付け、着用すること。※中学生は学校名。高校生は郡市連からの申込みの場合は郡市連名です。
- ② 選手は、組手競技・形競技のいずれにおいても、赤帯・青帯を各自で用意すること。
- ③ 選手の服装は、ストライプ・縁飾りのない白の空手道衣を着用すること。左袖の刺繍は中高生のみ埼玉県名を認める。色は黒色とするが、スクールカラーの使用は認める。
- ④ 彩の国杯の得点は、小学生男子・女子、組手・形個人戦（ベスト4）の合計とする。
- ⑤ 組合せ抽選は、大会運営委員会に一任し、その結果については異議申し立てしないものとする。
- ⑥ 参加申込郡市連盟事務担当者は、別紙詳細の通り申し込むこと。
- ⑦ 本大会の出場者より、関東・全国の埼玉県代表者を選考する。
- ⑧ 選手招集場所における招集の際、呼出しに応じなかった選手は棄権とみなす。

⑨ 郡市連盟からの係員選出について

本大会に参加する郡市連盟は、1日目と2日目は、以下に基づき係員を選出し、参加申込と同時に必ず届け出ること。係員を選出しない、あるいは当日不在の場合、監督にその業務を代行させる。

4月29日（幼児・小学生）	総参加選手人数	係員最低人数
4月30日（中・高校生） ※各日の係員選出人数	20名未満	1名以上
	20名以上30名未満	2名以上
	30名以上40名未満	3名以上
	40名以上50名未満	4名以上
	以後、上記同様に10名毎に、 係員は1名ずつ増加し、 参加選手数200名以上、 係員20名以上を最大とする	
5月1日（成年・シニア）	—	高体連と調整

- ⑩ 試合後の選手同士のタッチは禁止とする。
- ⑪ 4月29日（1日目）は、選手1名につき、保護者1名の入場を認めるものとする予定。
なお、同日に2名以上の兄弟姉妹が参加する場合、その保護者および参加選手は兄弟姉妹選手の入館から退館まで在館を認めるものとする。

⑫ 郡市連盟の監督人数について

各郡市連盟監督は、以下に基づく人数を配置することが出来る。

なお、監督要件は、成年で全空連公認式段以上の資格を有する者とする。

各郡市連盟名を道衣の左胸に縫付け着用すること。

監督会議は事前メール通達とし、監督IDは、各日、受付時にお渡しする。

組手地区審判員以上の資格を有する方は、審判員を最優先にお願い致します。

※要件を満たさない方は、退場とさせていただきます。

4月29日（幼児・小学生）	参加選手人数	監督最大人数
	20名未満	2名まで
	20名以上30名未満	3名まで
	30名以上40名未満	4名まで
	40名以上	5名まで
4月30日（中・高校生）	—	2名まで
5月1日（成年・シニア）	—	1名まで

⑬ 申込（出場）方法について

(1) 基本的には居住郡市連盟からの出場が望ましいが、団体（道場）加盟郡市連盟からの出場を可とする。

(2) **小学生団体競技種目**において、加盟郡市連盟の異なる選手でチームを構成する場合、当該郡市連盟間にて協議の上、どちらか一方の郡市連盟より申込・出場をすること。また個人種目においても、団体種目同様の郡市連盟より申込・出場をすること。

(3) **中学生団体競技種目**において、同一中学校内で加盟郡市連盟の異なる選手でチームを構成する場合、当該郡市連盟間にて協議の上、どちらか一方の郡市連盟より申込・出場をすること。

また個人種目においても、団体種目同様の郡市連盟より申込・出場をすること。

⑭ 傷害処置及び対応について

(1) 参加する選手は、スポーツ傷害保険に加入していること。

(2) 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置はするが、その後の責任は負わない。

以上